

清水口小学校

家庭学習の手引き

「知・徳・体の調和のとれた

人間性豊かな子ども」の育成

今、家庭学習の大切さが改めて注目されています。

毎年 6 年生を対象に行われる全国学力状況調査の結果から見ても、家庭での時間の使い方によって、正答率に大きな違いが出ています。例えば、国語 A や算数 A といった基礎的な内容に関する問題でも、家庭での学習時間が 30 分未満の児童は 1 時間以上 2 時間未満の児童に比べて、平均正答率が 10 ポイント近く低くなっています。逆に、携帯電話やスマートフォンで電話やメール、インターネットをする時間（ゲームをのぞく）が、1 時間以上 2 時間未満の児童は 30 分未満の児童に比べて、平均正答率が 5 ポイント近く低くなっています。

家庭学習はすぐに身につくものではありません。小さいころから少しずつ、発達の段階にあわせて家庭学習を習慣化してみませんか？

少しでも参考になればと思い、家庭学習のポイントをまとめてみました。



家庭学習を習慣づける3つのポイント



ポイント1

時間を大切にする意識を育てましょう

○ **時間を大切にすることで、計画性が養われます。**

「やりたいこと」「やるべきこと」「やらなければならないこと」等がたくさんあって、子どもは子どもなりに毎日忙しいのです。しかし、自分の時間をどう使ったらよいのかわかりません。

子どもが小学生のうちは、時間の使い方を本人まかせにせず、自主性を尊重しつつも、親がある程度管理してやる必要があります。

ポイント2

認めて、ほめて、励まして、やる気を育てましょう

○ **子どもとのコミュニケーションの中に、やる気を引き出すチャンスがたくさんあります。**

「お母さん教えて」「お父さんと一緒に考えよう」など、親子で共に学ぶ経験は、子ども達の励みになります。学習に対する意欲は、「できた!」「わかった!」という子どもの達成感と、「すごいね」「よくできたね」と言う褒め言葉や認めの言葉によって高まります。

ポイント3

読書や体験を通して、子どもの学びを深めましょう

○ **「読書好き」は「学び上手」につながります。**

読書によって、考える習慣を身につけておくことが、学力の向上につながります。

○ **体験は心をたがやし、豊かな感性を育みます。**

体験は人を磨きます。体験することで得られる感動や喜びは、「次の興味」につながります。感性が鋭いこの時期こそ、「見て・ふれて・確かめる」体験を積むことは、とても大切なことです。

この手引きは、千葉県教育委員会「すぐに取り組める家庭学習の進めヒント集」リーフレットから抜粋した内容をもとに、本校独自の内容を加えて作成したものです。

【低学年】基本的な学習習慣づくりをサポートしましょう

○この時期の子ども達

何でも知りたがり、ほめてほしいと思っています。しかし、意欲はあっても自分一人でやりとげるのはまだまだ難しい時期です。ましてやそばに誰もいない中、一人で勉強するのはつらくてつまらないものかもしれません。

○学校での学習

「読み、書き、計算」などの基礎的な内容を学習しています。繰り返しの練習が大切です。

生活と結びついた学習が多く、実際に体験したりする学習も行います。



○家庭学習のポイントは？

ポイント 1

時間を大切にする意識を育てましょう

学習時間の目安は、10～20分

○学習時間を決めて、子どもと一緒に学習することで、習慣化を図りましょう。

- 1日の計画を立ててみる。
- 学習する前にテレビは消す。
- 学校からの連絡や次の日の準備を一緒に確認する。

ポイント 2

認めて、ほめて、励まして、やる気を育てましょう

○できたことは、「すぐに」「思いっきり」ほめましょう

- 丸付けをすると子どもは大よろこび！どんどんやる気を出します。時にはコメントを入れたり、ご褒美シールを貼ってあげたりすることも有効です。
- 正しく漢字を覚えるために、間違った書き順で書いていないか確認を。



ポイント 3

読書や体験を通して、子どもの学びを深めましょう

○聞き上手になりましょう

- 学校での様子、友だちのことなど、子ども達は聞いてくれる人がいればたくさん話してくれるはずです。時には質問をしながら、子ども達の言葉を引き出してみましょう。
- 音読の仕方も、親子で段落ごとに分担するなど、工夫をしてみるのもおもしろいです。

たとえばこんな学習

国語

音読

- 学習しているところを、すらすら読めるように毎日練習しましょう。
- 「、」「。」に気をつけて、大きな声ではっきりと読みましょう。

書き方

- 漢字ドリルなどを活用し、ノートに練習しましょう。
- 鉛筆の持ち方や書き順に気をつけて、ていねいに正しく書きましょう。

読書

- 子どもにあった本を読み聞かせてあげましょう。
- むずかしい言葉は、お家の人といっしょに辞書を引いてあげましょう。

算数

計算

- 計算ドリルなどを活用し、繰り返し練習しましょう。
- 初めは速さよりも正確さを大切にしましょう。慣れてきたら100マス計算などで記録に挑戦するのも良いです。
- 間違えた問題は、必ずやり直す習慣をつけましょう。

その他

日記

- 楽しかったことや嬉しかったことを、素直に自分の言葉で書いてみましょう。

生活

- 身近な昆虫や動植物に触れる機会を作りましょう。図鑑などで虫や花の名前を調べてみましょう。
- 空き箱などの身近な材料を使って好きなものを作ってみましょう。

音楽

- 鍵盤ハーモニカの練習をしましょう。

ここでワンポイント

「子どもも親も、一緒にこんくらべ」

「宿題は最後までやること」を必ず守らせましょう。最後までやったかどうか、必ず家族の目で確認しましょう。間違いはすぐに直しましょう。丸付けまでが学習です。根負けせずに、粘り強く働きかけることが大切です。また、できたことは思い切りほめましょう。

課題に困ったら…

「ちばっこチャレンジ100」

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shidou/gakuryoku/challenge.html>

【中学年】子どものやる気を支え、学習習慣の定着を図りましょう

○この時期の子ども達

学校生活にもなれ、グループで遊ぶことも増えてきます。自立心が芽生え、自己主張も強くなります。自分でやろうとすることは増えてきますが、保護者のサポートはまだ必要です。

○学校での学習

社会や理科、総合的な学習の時間などが新たに始まり、学習内容が広がります。地図帳などの使い方を学び、47都道府県の位置を調べたりします。算数では、分数や小数を勉強します。

○家庭学習のポイントは？

ポイント1

時間を大切にする意識を育てましょう

学習時間の目安は、30～40分

○学習時間を決めて、自分から机に向かう姿勢を育てましょう

- 1日の計画を立ててみる。
- 学習する場所の整理整頓をする。
- やろうとする姿勢をほめる。



ポイント2

認めて、ほめて、励まして、やる気を育てましょう

○時には家族で楽しみながら

- わからないところには手助けをしてあげましょう。
- 「まちがえたっていいんだよ」を繰り返し、できたことをほめましょう。
- すぐに丸付けをしてあげましょう。出来たところを褒め、間違いを直すことでより理解が深まります。

ポイント3

読書や体験を通して、子どもの学びを深めましょう

○辞書引きを習慣化してみましょう

- 清水口小学校でも辞書引きを励行しています。わからない言葉はどんどん辞書を引き、自主的に学習する習慣を育てましょう。

○手紙のやり取りを家族から

- 家族で互いに手紙を書く機会を作ってみては？誕生日などは良い機会です。

たとえばこんな学習

国語

音読

- 学習しているところを，すらすら読めるように毎日練習しましょう。
- 会話文は気持ちを込めて読みましょう。

漢字

- 漢字ドリルなどを活用し，繰り返し練習しましょう。
- 正しい筆順で，「とめ，はね，はらい」に気をつけて書きましょう。

読書

- 色々な種類の本を読みましょう。読んだら「読書の貯金通帳」に記録しましょう。
- 国語辞典を手元に置き，言葉の意味調べをしてみましょう。

算数

計算

- 計算ドリルなどを活用し，繰り返し練習しましょう。
- 筆算をノートで練習してみましょう。位をそろえて書けているか，よく見てあげましょう。
- 文章問題は，絵や図に書いたりして考えさせましょう。

その他

日記

- 様子がよくわかるように，会話を入れて詳しく書けるようアドバイスしましょう。読み直す習慣もつけるとより良いですね。

調べ学習

- 理科や社会の学習で習ったことについて，自分なりに調べてまとめてみましょう。

社会

- 地図帳などを見ながら，都道府県の場所と名前を覚えましょう。（4年）

ここでワンポイント

「他の子と比べない！」

学習面でも身体面でも個人差が出てくる頃です。友達や兄弟・姉妹で成長を比べることは避けて，「がんばり」を見逃さずに，本気でほめましょう。

課題に困ったら…

「ちばっこチャレンジ100」

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shidou/gakuryoku/challenge.html>

【高学年】自主性を伸ばす時期です。見守り、励まし、任せるべきことは任せましょう

○この時期の子ども達

物事を理屈で考えるようになり、周囲に対して自分の考えを主張するようになります。友達の言動や大人の対応に敏感で、納得できないことに反発したり、傷ついたりすることがあります。家族として、思いを受け止め、より一層温かな見守りが必要です。

○学校での学習

自分の考えを述べたり、新聞などを作成して発表したりする活用型の学習が増加します。将来の職業に対する考えを深めるキャリア教育や、親元を離れる宿泊学習が行われます。



○家庭学習のポイントは？

ポイント 1

時間を大切にする意識を育てましょう

学習時間の目安は、50～60分

○学習時間を決めて、計画を立てて学習が進められるように励ましましょう

○宿題以外にも、家庭学習ノートを作って「自学」に取り組みましょう

→1日の計画を立ててみる。

→やろうとする姿勢を褒める。

→頑張りを認め、見守って、伸ばすことを心がける。

ポイント 2

認めて、ほめて、励まして、やる気を育てましょう

○できることをコツコツと、「わからない」はチャンスです

→興味を持ったことや不思議に思ったことは自学として調べてみましょう。学校の学習だけでなく、テレビや新聞、時にはゲームにも自学の題材はたくさんあります。

→「これよくわからない」はチャンスです。子どもと真剣に向き合いましょう。わからないことは恥ずかしいことではありません。勉強はその積み重ねです。高学年の小数や分数の計算でつまづいているのなら、中学年の小数や分数の意味に戻ってやり直せばいいのです。



ポイント 3

読書や体験を通して、子どもの学びを深めましょう

○学習やイベントを生活に生かしてみましょう

→家庭科などで学習した内容を生活の中で実践したり、自分の打率を求めてみたり、スーパーなどで買い物をしたりするのもいいでしょう。体験を通して、親子の対話も生まれます。

○共通の話題を

→歴史上の人物についての本やテレビ番組、職業についての話など、家族で話し合ってみると、学習が一層深まります。



たとえばこんな学習

国語

音読

- 学習しているところを，すらすら読めるように毎日練習しましょう。
- 教科書の視写（書き写し）も良い勉強になります。

漢字

- ドリルなどを活用し，習った漢字の部首，読み方，熟語を調べましょう。

読書

- 伝記や歴史物，教科書に出てきた作者が描いた他の作品など，興味のある本を選んで読みましょう。
- 国語辞典を手元に置き，言葉の意味調べをしてみましょう。（四字熟語やことわざを調べるのもよいでしょう。）
- 読んだ本や新聞，ニュースについての簡単な感想文・意見文を書いてみましょう。

計算

- 計算ドリルなどを活用し，繰り返し練習しましょう。
- 教科書のもんだい（単元末の「力をつけるもんだい」や「しあげのもんだい」など）に取り組んでみましょう。
- 問題作りに挑戦して，お家の人に出してみましょう。

調べ学習

- 理科や社会の学習で習ったことについて，自分なりに調べてまとめてみましょう。資料を活用し，グラフや表にまとめるなどの工夫をしてみましょう。

新聞活用

- 学習に関係ある記事や，興味を持った記事を切り抜いて，ノートに貼ってみましょう。日付や読んで感じたことを書いておきましょう。

算数

その他

ここでワンポイント

「家庭学習ノートを作る」

その日学習したことの復習や，ドリルを使った繰り返し練習，本を読んだ感想や興味を持ったことについての調べ学習など，ページによって内容が違って構いません。日付と始めた時刻，終わった時刻はしっかり書くようにして積み重ねてみましょう。

課題に困ったら…

「ちばっこチャレンジ100」

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shidou/gakuryoku/challenge.html>